

名刀ズラリ



重要美術品 脇指銘相模国住人広光/康安二年十月日〈号 火車切〉 南北朝時代 佐野美術館蔵

佐野美術館は、2025年1月7日（火）から2月16日（日）まで、「名刀ズラリ」を開催します。

「名刀」の言葉からどんな刀剣を連想するでしょう。誰もが知るような有名な刀工の作、名だたる戦国武将の手から手へと渡り歴史を物語る作、国宝や重要文化財に指定され展覧会の主役級となる作でしょうか。一方で、さまざまな理由であり人目に触れてこなかった名刀もあります。本展では、平安時代から江戸時代までの約50点の刀剣および、室町時代から大正時代までの刀装具を展示します。

日本刀をはじめ鑑賞する人から、愛好家まで、現代まで絶えることなく守り継がれてきた名刀を、どうぞ気軽にお楽しみください。

展覧会について

本展には、さまざまな観点から「名刀」とされる作品が、ズラリと並びます。

京の都で鍛刀した粟田口六兄弟、その中でも技量の高さで知られる久国の太刀は、伝来不明ながら平安時代末期から鎌倉時代初期にかけての優美な姿を今に伝える名刀です。火車切と呼ばれる相州広光の脇指は、上杉家に代々受け継がれ、謙信好みともいう上杉家独特の形状をした拵とともに今に伝わっています。幕末期に才能を開花させ、四谷正宗と賞賛されながら波乱の生涯を終えた源清麿の大小（正行銘）などの名刀も紹介します。

名刀の数々に加え、武士の世が終わった明治時代、刀工や装剣金工に積極的に制作を依頼し、技術の継承のために尽力した、実業家・光村利藻のコレクションをはじめとする刀装具の名品もズラリ。洒落な意匠や高い工芸技術をご覧ください。

展覧会関連イベント

■日本刀を持ってみよう

2月8日（土） 一般対象：10:00～11:30 / 15:00～16:30 小中学生対象：13:00～14:00

■三島市 × 『刀剣乱舞 ONLINE』 コラボレーション

1月7日（火）～2月16日（日）

「大笹穂槍 銘 藤原正真作〈号 蜻蛉切〉」「重要文化財 刀 朱銘 義弘/本阿（花押）〈名物 松井江〉」「重要美術品 脇指 銘 相模国住人広光/康安二年十月日〈号 火車切〉」の展示を記念し、三島市および佐野美術館にて、PCブラウザ & スマホアプリゲーム『刀剣乱舞 ONLINE』とのコラボレーション企画を実施します。詳細は三島市のホームページ・『三島市 × 刀剣乱舞 ONLINE』公式 X (@t_mishimashi) にて順次発表。コラボレーションのお問い合わせは、三島市文化のまちづくり課まで（TEL 055-983-2756）。

開催概要

展覧会名：名刀ズラリ

会期・時間・休館日：2025年1月7日〔火〕～2月16日〔日〕 10:00～17:00（入館の受付は16:30まで） 木曜日

会場：佐野美術館（411-0838 静岡県三島市中田町1-43）

入館料：一般・大学生1,300円、小・中・高校生650円

主催：佐野美術館、三島市、三島市教育委員会 後援：静岡県教育委員会 助成：三島信用金庫 協賛：伊豆箱根鉄道株式会社

展覧会公式サイト：https://sanobi.or.jp/exhibition/japanese-sword_2024/

広報用画像

展覧会紹介のための作品画像のデータ等を、プレス関係の方向けにご用意しています。①～⑪の画像を提供できますので、電話またはメールでご連絡ください。

※本展紹介以外での使用、本展終了後の使用、二次利用はお断りします。画像使用の際に、展覧会名、会期、会場、作品クレジット（①は不要）を必ずご記載ください。画像は全図で使用し、変形等をご遠慮ください。



①



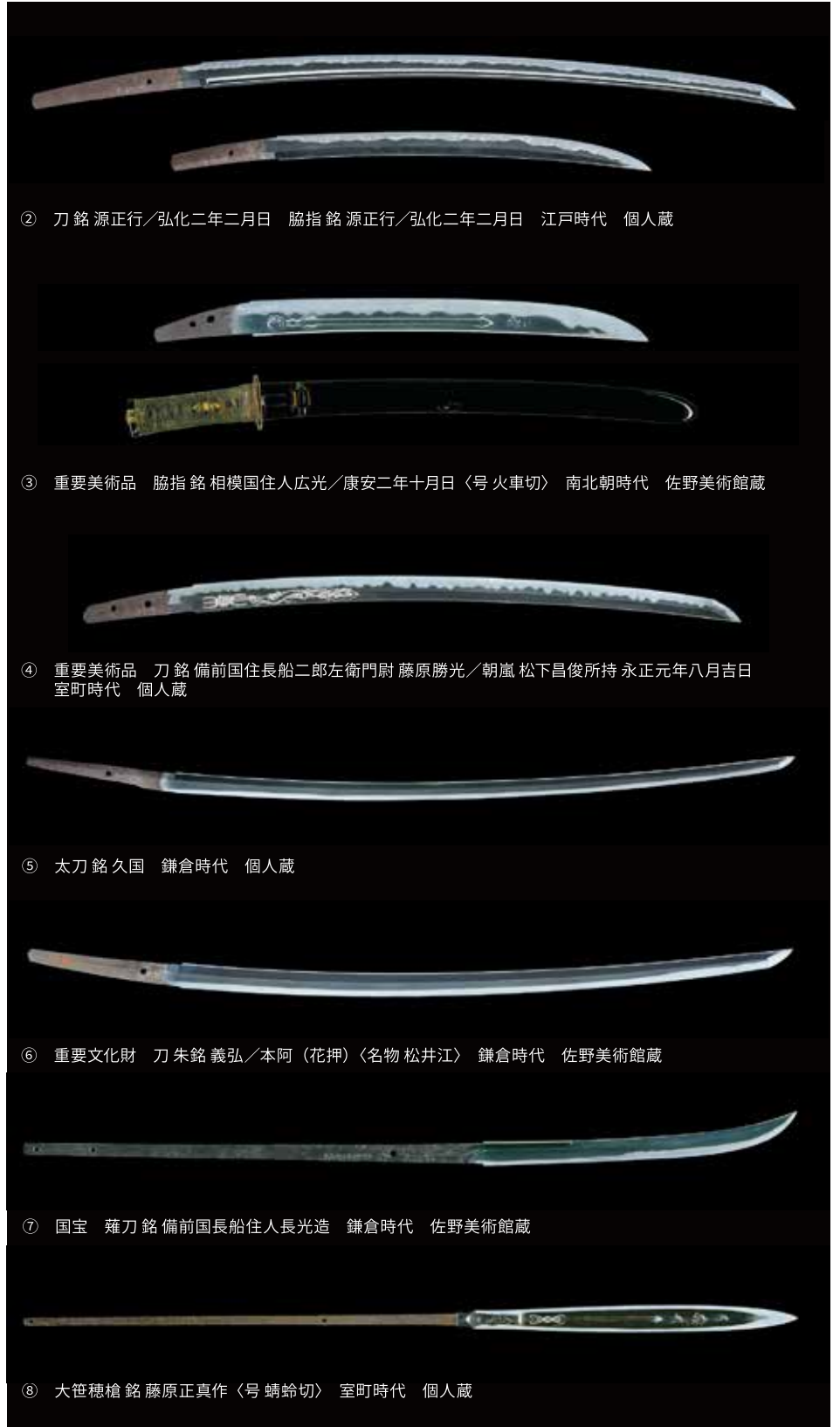
⑨ 布袋恵比寿図鐺 村上如竹作 江戸時代 個人蔵



⑩ 花鳥図大小鐺 石黒政常作 江戸時代 個人蔵



⑪ 寒山拾得図目貫 真柳齊光長作 大正時代 個人蔵



② 刀銘 源正行／弘化二年二月日 脇指銘 源正行／弘化二年二月日 江戸時代 個人蔵

③ 重要美術品 脇指銘 相模国住人広光／康安二年十月日〈号 火車切〉南北朝時代 佐野美術館蔵

④ 重要美術品 刀銘 備前国住長船二郎左衛門尉 藤原勝光／朝嵐 松下昌俊所持 永正元年八月吉日 室町時代 個人蔵

⑤ 太刀銘 久国 鎌倉時代 個人蔵

⑥ 重要文化財 刀 朱銘 義弘／本阿（花押）〈名物 松井江〉 鎌倉時代 佐野美術館蔵

⑦ 国宝 薙刀銘 備前国長船住人長光造 鎌倉時代 佐野美術館蔵

⑧ 大笹穂槍銘 藤原正真作〈号 蜻蛉切〉 室町時代 個人蔵